

## まちの駅よるす

# 「新発田学研究センター」開所二周年・ 第二回「阿賀北ロマン賞」 創設記念講演会・シンポジウム、 第二回「阿賀北ロマン賞」受賞式典のご案内

敬和学園大学では地元の新発田商工会議所とともに、新潟県及び新発田市よりご支援・ご協力をいただき、大学生と高齢者等市民の交流を図るとともに、商店街の機能強化とコミュニティ機能の回復を目的として、まちの駅よるす「新発田学研究センター」を、地元新発田市大栄町の空店舗を利用し、二〇〇六年十一月二十九日に開所いたしました。二年が経過いたしました。

「新発田学」とは地元 roots 根ざした大学となることを切望していた本学が、地元の人間にとって必要な知識を広く「地域学」としてとらえ、当地域の方たちとともに創っていかうとするものです。具体的には、①商店街活性化事業、②地域文化研究事業、③教育事業を有機的に関連させながら活動してまいりました。

これらの活動に加え、新発田商工会議所では、新潟県新発田地域振興局との

共催で、二〇〇八年度開始の新規企画として、阿賀北地域の地域振興、文学による人材発掘とアイデンティティの創造及び新しい文藝作品の主目的として、文藝賞「阿賀北ロマン賞」を設け二〇〇八年度作品募集を行った結果、北海道から沖縄までの二十九都道府県から計百七十五編のご応募をいただくことが出来ました。今後は、小説部門(一般・大学生の部)、小説部門(高校生・児童の部)、随筆部門、創作童話・児童文学部門(一般の部)、及び創作童話・児童文学部門(中学生の部)の応募作品について選考して、入賞作品を決定する予定にしております。

そこでこのたび、まちの駅よるす「新発田学研究センター」開所二周年と第一回「阿賀北ロマン賞」創設を記念いたしましたので、次の内容を講演会とシンポジウムを開催することになりましたので、是非ご参加ください。

【総合テーマ】  
「文学を通して地域を考える」

【主催】  
新発田商工会議所、敬和学園大学(まちの駅よるす)新発田学研究センター

【日時】  
二〇〇九年三月一日(日)  
午後一時から午後五時

【会場】  
新発田市生涯学習センター 一講堂

【内容】  
一部 講演会(午後二時三十分～午後二時三十分)  
講師 加藤宗哉氏(作家・「三田文学」編集長)  
演題「体験すること書くこと―遠藤周作に学ぶ―」

【参加料】  
無料(先着二百五十名)  
【申込み・お問合せ先】  
敬和学園大学 教務課 務係  
☎〇二五四―二六一二五 一四

二部 シンポジウム(午後二時四十五分～午後四時十五分、お一人二十分程度)  
テーマ「越後と文学」  
シンポジスト① 敬和学園大学学長 新井明  
シンポジスト② 新潟大学名誉教授 加藤信一(予定)  
シンポジスト③ 敬和学園大学名誉教授 北嶋藤郷  
オブザーバー 加藤宗哉氏(作家・「三田文学」編集長)  
三部 阿賀北ロマン賞授賞式(午後四時三十分～午後五時)  
プレゼンター 新潟県副知事 森 邦雄



加藤 宗哉氏